

令和7年度

「運営に関する計画」
自己評価(最終評価)
(総括シート・目標別シート)

大阪市立立葉幼稚園

令和8年3月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

新型コロナウイルス感染症により、新しい生活様式が加わり、人とのかかわりも園外ではこれまで通りには出来にくく、園外での活動も制限されるなど、子どもたちの状況が大きく変わっている中で2年を過ごしてきた。このような状況の下、子どもも保護者も安心して登園できる幼稚園運営がまず必要である。また、制限される中でできる経験をこれまで以上に工夫して取り組むこと、人との関わりを保障することと共に、基本的な生活習慣や態度を育てることが必要と考える。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

○令和7年度の保護者アンケート調査で、「園は安全指導を通して、子どもが幼稚園生活の約束やきまりを守ろうとする意識を育てている」の項目、「園は教育活動を通して、子どもが親しみをもって挨拶をするよう指導している」の項目、「園は一人一人の子ども理解に努めている」の項目について、「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する保護者の割合を、全園で90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度の保護者アンケート調査で、「園は就学前教育カリキュラム等に基づいた教育内容の充実を図っていますか」の項目、「園は子どもが自然とのふれあいや直接体験など多様な体験を大切にしていますか」の項目、「園は、子どもに生活習慣などの指導をし、健康的な生活が送れるよう努めていますか」の項目について、「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する保護者の割合を、全園で90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○令和7年度の保護者アンケート調査で、「園は、ICTなどの機器を活用し、より分かりやすい保育に取り組んでいると思いますか」の項目、「園は、ホームページなどで教育内容を分かりやすく発信していると思いますか」の項目、「お子さんは、絵本が好きですか」の項目について、「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する保護者の割合を、全園で90%以上にする。

○令和7年度の教職員アンケート調査で、「自らの働き方を見直す機会をもつことができましたか」の項目について、「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する教職員の割合を、全園で90%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

○今年度の保護者アンケート調査で、「園は安全指導を通して、子どもが幼稚園生活の約束やきまりを守ろうとする意識を育てている」の項目、「園は教育活動を通して、子どもが親しみをもって挨拶をするよう指導している」の項目、「園は一人一人の子ども理解に努めている」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を、全園で90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

○今年度の保護者アンケート調査で、「園は就学前教育カリキュラム等に基づいた教育内容の充実を図っていますか」の項目、「園は子どもが自然とのふれあいや直接体験など多様な体験を大切にしていますか」の項目、「園は、子どもに生活習慣などの指導をし、健康的な生活が送れるよう努めていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を、全園で90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

○今年度の保護者アンケート調査で、「園は、ICTなどの機器を活用し、より分かりやすい保育に取り組んでいると思いますか」の項目、「園は、ホームページなどで教育内容を分かりやすく発信していると思いますか」の項目、「お子さんは、絵本が好きですか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を、全園で90%以上にする。

○今年度の教職員アンケート調査で、「自らの働き方を見直す機会をもつことができたと思いますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する教職員の割合を、全園で90%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

中期目標及び年度目標の取組成果は以下の通りである。

○安全・安心な教育の推進については、保護者アンケートの全ての項目において肯定的な回答が100%であった。避難訓練の振り返りや幼児の実態の把握、共有を丁寧に重ねたことで、実態に応じた効果的な避難訓練をすることができ、幼児の安全への意識が高まった。年間計画を立て、各学年のねらいに合わせて取り組んだことで、幼児や保護者も進んで挨拶をする姿につながった。定期的な園内委員会、研修会の実施や関係諸機関との連携により、幼児の実態や支援方法などの共通理解を図り、その後の支援に生かすことができた。

○未来を切り拓く学力・体力の向上についても、保護者アンケートの全ての項目において肯定的な回答が100%であった。就学前教育カリキュラムを活用しながら日々の保育を充実させるとともに、園内研究保育を実施したり、週1回程度保育の打ち合わせを行ったりしたことで、保育の充実や教員の資質向上につながった。また地域の畑を活用し、栽培や収穫の経験をし、自然とのかかわりを深めることができた。また、養護教諭と担任と連携しながら幼児の実態に合った保健指導を行ったことで、健康な生活への意識が高まった。

○学びを支える教育環境の充実については、保護者アンケートの全ての項目において肯定的な回答が95%以上となった。ICT教材や機器を積極的に活用し、より分かりやすい保育の展開や保護者への園の取組の周知につながった。さまざまな絵本を保育に取り入れ、幼児のイメージが広がった。また、園外保育や地域の絵本ボランティアなど、絵本に触れる機会を取り入れた。上記の様々な取組を積極的にホームページへ掲載し、幼稚園教育を保護者や地域に広く発信することができた。

大阪市立立葉幼稚園 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○今年度の保護者アンケート調査で、「園は安全指導を通して、子どもが幼稚園生活の約束やきまりを守ろうとする意識を育てている」の項目、「園は教育活動を通して、子どもが親しみをもって挨拶をするよう指導している」の項目、「園は一人一人の子ども理解に努めている」の項目について、「そう思う (だいたいそう思う)」と回答する保護者の割合を、全園で 90% 以上にする。</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1 : 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>【施策内容 : 防災・減災教育と安全教育の推進】</p> <p>○安全指導を通して約束やきまりを知らせる。</p> <p>○避難訓練を通して、自ら安全に関心をもてるよう指導する。</p> <hr/> <p>指標 ・ 幼児の実態に応じた安全指導を行う。(月 1 回程度)</p> <p>・ 自園の実態に合わせた避難訓練の年間計画を作成する。</p>	A
<p>取組内容②【基本的な方向 2 : 豊かな心の育成】</p> <p>【施策内容 : 道徳教育の推進】</p> <p>○進んで挨拶をする習慣が身に付くような指導や保護者啓発の方法を工夫する。</p> <hr/> <p>指標 ・ 年間計画に基づき、進んで挨拶ができるよう指導する。</p>	A
<p>取組内容③【基本的な方向 2 : 豊かな心の育成】</p> <p>【施策内容 : インクルーシブ教育の推進】</p> <p>○一人一人のニーズに応じた適切な指導及び必要な支援のあり方を工夫する。</p> <hr/> <p>指標 ・ 園内委員会を実施する。(学期 1 回程度)</p> <p>・ 園内研修会を実施する (学期に 1 回以上)</p>	A

中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- 今年度の保護者アンケート調査で、「園は安全指導を通して、子どもが幼稚園生活の約束やきまりを守ろうとする意識を育てている」の項目において肯定的な回答は100%であった。反省、課題を受けて避難訓練の実施を追加するなど、幼児の実態に合わせた安全指導を丁寧に積み重ねた結果であると考え、進捗状況をAとした。
- 「園は教育活動を通して、子どもが親しみをもって挨拶をするよう指導している」の項目において、肯定的な回答は100%であった。年間計画に基づきあいさつ当番の実施や、各クラスのねらいに合わせた指導を行った結果であると考え、進捗状況をAとした。
- 「園は一人一人の子ども理解に努めている」の項目において、肯定的な回答は100%であった。学期に1回の園内委員会に加え、月1回程度の特別支援園内研修会においても幼児一人一人の実態や支援方法の共有を行い、教職員の幼児理解や支援への共通理解が深まったと考え、進捗状況をAとした。

以上により、達成状況をAとした。

取組内容①【施策内容：防災・減災教育と安全教育の推進】

- ・年間を通して、用具の使い方や電車の乗り方など、幼児の実態や保育内容に応じて指導内容を工夫して安全指導を行った。また、幼児の実態に合わせて防災指導を行い、幼児自らが安全に気を付け、命の大切さを感じることができるようにした。
- ・各学年の実態や前回の訓練時の様子に基づいて計画を立案し、避難訓練後には振り返りを行い、より実態に応じた訓練を重ねた。経験を重ねたことで、教職員の指示を聞き、避難時の約束や命を守る大切さを理解して行動するようになった。またHPに訓練の様子を掲載し、家庭での防災・減災教育につなげた。年間の訓練や指導の内容をまとめ、避難訓練の年間計画を作成した。

取組内容②【施策内容：道徳教育の推進】

- ・年間計画に基づき指導した。幼児の実態に合わせて個別に声をかけてきたことで、身近な人に親しみをもったり、挨拶をしたりする姿が見られるようになってきた。
- ・あいさつ週間を年3回実施した。回数を増やしたことで、より保護者の意識が高まり、進んで挨拶する姿が見られた。

取組内容③【施策内容：インクルーシブ教育の推進】

- ・園内委員会を実施し、幼児の実態や課題、支援方法を共有して体制を整えた。
- ・月に1回程度、外部講師を招いて園内研修会を実施した。幼児の成長や課題を検証し個々に応じた指導に繋げた。
- ・療育施設と連携を取り、保育中の幼児の姿を観察してもらったり、長期休業中を利用して療育施設を見学したりした。情報共有して連携を深め保育に活かすことができた。

次年度への改善点

取組内容①【施策内容：防災・減災教育と安全教育の推進】

- ・安全指導の取組について保護者への啓発を工夫する。

取組内容②【施策内容：道徳教育の推進】

- ・登降園時を活用しながら、今後も挨拶の大切さを啓発する。

取組内容③【施策内容：インクルーシブ教育の推進】

- ・一人一人の幼児の姿を職員間で積極的に共有し育ちにつなげていく。

大阪市立立葉幼稚園 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○今年度の保護者アンケート調査で、「園は就学前教育カリキュラム等に基づいた教育内容の充実を図っていますか」の項目、「園は子どもが自然とのふれあいや直接体験など多様な体験を大切にしていますか」の項目、「園は子どもに生活習慣などの指導をし、健康的な生活が送れるよう努めていますか」の項目について、「そう思う (だいたいそう思う)」と回答する保護者の割合を、全園で 90% 以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 3 : 幼児教育の推進と質の向上】</p> <p>【施策内容 : 就学前教育カリキュラム等に基づいた教育の推進】</p> <p>○就学前教育カリキュラムや幼稚園教育要領に基づいた教育内容を工夫し実施する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前教育カリキュラムや小学校生活への接続について学びを深める。 ・園内研究会を年に 6 回以上実施する。 	A
<p>取組内容②【基本的な方向 4 : 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>【施策内容 : 「主体的・対話的で深い学び」の推進】</p> <p>○幼児が自然との関わりを通して心を動かし、自ら考えたり工夫したりして主体的に活動し、充実感を味わえるよう指導を工夫する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児が主体的に活動できるような環境構成や教師の教育的意図をもった働きかけを行えるよう、保育の話し合いを行う。(週 1 回) ・地域の畑を活用し、自然との関わりを深める。(月 1 回以上) 	B
<p>取組内容③【基本的な方向 5 : 健やかな体の育成】</p> <p>【施策内容 : 健康教育・食育の推進】</p> <p>○健康的な生活が送れるよう、幼児の課題を踏まえて計画立案し、指導をする。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任と連携し、幼児の実態に応じた保健指導をする。(月 1 回程度) ・保健指導の内容を周知し、保護者啓発を行う。(学期 1 回) 	B

中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- 今年度の保護者アンケート調査で、「園は就学前教育カリキュラム等に基づいた教育内容の充実を図っていますか」の項目において、肯定的な回答は100%であった。研修会への積極的な参加や、園内研究保育の充実を図った結果であると考え、進捗状況をAとした。
- 「園は子どもが自然とのふれあいや直接体験など多様な体験を大切にしていますか」の項目において、肯定的な回答は100%であった。指標通りに実施し、様々な遊びを通して多様な体験を経験できるよう環境構成や教材研究などを行ったことで一定の成果が得られたと考え、進捗状況をBとした。
- 「園は子どもの生活習慣などの指導をし、健康的な生活が送れるよう努めていますか」の項目において、肯定的な回答は100%であった。指標通り、担任と連携して保健指導を行ったり、指導内容に合わせて保護者への啓発を行ったりした結果であると考え、進捗状況をBとした。

以上により、達成状況をBとした。

取組内容①【施策内容：就学前教育カリキュラム等に基づいた教育の推進】

- ・就学前教育カリキュラムの研修や研究発表に積極的に参加し、その都度園内で伝達研修を行った。週案の作成やクラスだよりなどに取り入れ活用した。
- ・機会を捉え、教職員が小学校参観に行き、小学校生活を知ることができた。地域の小中学校と連携をとって交流を図り、小学校との接続を意識した取組ができた。
- ・園内研究会の年間計画を立て年5回実施した。園内研究会のクラスのみを、午後保育としたことで、全職員で保育を見ることができ、子どもの育ちを共有し、多面的に読みとる機会となり、職員の資質向上につながった。

取組内容②【施策内容：「主体的・対話的で深い学び」の推進】

- ・週1回、幼児の実態や遊びの経過を共有し、見通しをもった保育ができるよう話し合いを行った。実態に応じた教材や保育への取り入れ方、環境構成、教育的意図をもった働きかけなどを学びあう機会になった。幼児の実態をとらえることで、日々の遊びが充実し、幼児自らが考えたり工夫したりして遊ぶ姿が見られた。
- ・地域の畑を活用して様々な野菜栽培をし、収穫の喜びを味わった。収穫した野菜の大きさに驚き、それを家庭で調理してもらうことで、自然のありがたさを感じている。また、自然との関わりや収穫の体験が幼児の遊びとなり、3学期の劇遊びにつながった。

取組内容③【施策内容：健康教育・食育の推進】

- ・担任と保育後に幼児の実態を共有し、保健面での課題を明確化した。月に1回実態に即した保健指導を実施することで、担任と連携して継続した指導が可能になり、幼児が日常生活の中で進んで実践する姿が増えた。
- ・学期に1回保護者会で、保健指導について話をした。保護者啓発を通して指導内容をより詳しく伝えることができ、保護者より家庭での指導に繋がりやすいという声があった。

次年度への改善点

取組内容①【施策内容：就学前教育カリキュラム等に基づいた教育の推進】

- ・園内研究会の内容を工夫し、職員の資質向上につなげていく。

取組内容②【施策内容：「主体的・対話的で深い学び」の推進】

- ・気象状況などにより畑に行くことが難しいときにも、畑の自然環境に関心がもてるような保育の工夫をする。

取組内容③【施策内容：健康教育・食育の推進】

- ・手洗いの必要性を知り、習慣となるよう保健指導を工夫する。

大阪市立立葉幼稚園 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○今年度の保護者アンケート調査で、「園は、ICTなどの機器を活用し、より分かりやすい保育に取り組んでいると思いますか」の項目、「園は、ホームページなどで教育内容を分かりやすく発信していると思いますか」の項目、「お子さんは、絵本が好きですか」の項目について、「そう思う (だいたいそう思う)」と回答する保護者の割合を、全園で90%以上にする。</p> <p>○今年度の教職員アンケート調査で、「自らの働き方を見直す機会をもつことができたと思いますか」の項目について、「そう思う (だいたいそう思う)」と回答する教職員の割合を、全園で90%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6：教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>【施策内容：ICTを活用した教育の推進】</p> <p>○ICTを適切に取り入れ、より分かりやすい保育の展開や工夫に生かす。</p> <p>指標 ・教員のICT機器についての学びを深め、保育に活用する。</p>	A
<p>取組内容②【基本的な方向7：人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>【施策内容：働き方改革の推進】</p> <p>○教職員が働きやすい環境づくりに取り組めるよう、適切な休業日等を設ける。</p> <p>指標 ・学校閉庁日を夏季休業期間中に3日以上、冬季休業期間中に2日以上設置する。</p>	B
<p>取組内容③【基本的な方向8：生涯学習の支援】</p> <p>【施策内容：絵本に親しみ、言語力や表現力を育む取組】</p> <p>○絵本に親しみ、イメージを豊かにする経験を深める。</p> <p>指標 ・幼児が絵本に親しむ機会を設ける。(1日1回以上)</p> <p>・絵本についての教材研究を行う。(学期に1回程度)</p>	A
<p>取組内容④【基本的な方向9：生涯学習の支援】</p> <p>【施策内容：家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <p>○ホームページを活用し、保護者や地域に幼稚園教育を広く発信する。</p> <p>指標 ・全教員がホームページを掲載する。(月に1回以上)</p>	B

中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- 今年度の保護者アンケート調査で、「園は、ICTなどの機器を活用し、より分かりやすい保育に取り組んでいると思いますか」の項目において、肯定的な回答は98%であった。研修への参加や、保育や園行事、保護者会などへの積極的な機器の活用により、ICT機器の保育への有効な活用方法を工夫したため、進捗状況をAとした。
- 教職員アンケートにおいて、「自らの働き方を見つめ直す機会をもつことができたと思いますか」の項目において、肯定的な回答は100%であった。指標通り学校閉庁日を設けたことで、働きやすい職場環境の推進につながったと考え、進捗状況をBとした。
- 「お子さんは、絵本が好きですか」の項目において、肯定的な回答は97%であった。絵本コーナーを学期や行事、季節ごとに整え、日常的に絵本を楽しむ姿が多くみられたため、進捗状況をAとした。
- 「園は、ホームページなどで教育内容を分かりやすく発信していると思いますか」の項目において、肯定的な回答は100%であった。取組指標を超えて一日一回程度ホームページの更新を行ったが、全教職員がより積極的に更新することが今後の課題としてあげられたため、進捗状況をBとした。

以上により、達成状況をBとした。

取組内容①【施策内容：ICTを活用した教育の推進】

- ・ICT機器活用に向けて、教職員がすすんで研修会に参加し、伝達研修を実施した。通訳機能の活用、紙芝居や掲示物の作成、子どもたちの姿や作品のフォトムービーなど積極的にICTを活用した。子どもたちにも保護者にも視覚的にわかりやすく伝えられる機会が増え、より保育の幅が広がった。

取組内容②【施策内容：働き方改革の推進】

- ・指標通り、夏季休業中に4日間、冬季休業中3日間の学校閉庁日を設定した。全職員が、特別休暇以外に、年次休暇を取得することができた。

取組内容③【施策内容：絵本に親しみ、言語力や表現力を育む取組】

- ・1日1回、子どもが絵本を読んだり、教師が読み聞かせをしたりして、絵本に触れる機会をもった。また、週1回の絵本貸し出しや、読み聞かせをした絵本の紹介をした。子どもたちが好きな絵本を見つけて繰り返し読んだり、友達と一緒に読み合ったりする姿が見られるようになった。
- ・園外保育でこども本の森に行った。子どもたちが自発的に絵本を手取る環境を知り、園での環境構成への教材研究ができた。
- ・子どもの実態に合わせた絵本を活用し、お話の世界のイメージを膨らまして、3学期の生活発表会では自分たちで劇遊びをつくりあげた。

取組内容④【施策内容：家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】

- ・毎月のたよりを月に1回、保育や幼児の様子は毎日1回程度掲載した。
- ・HPと併せて、降園時などの機会に保育や幼児の様子を保護者に話をしたことで、幼稚園の取組がより伝わり、保護者への幼稚園教育の発信につながった。
- ・未就園児に向けて、幼稚園の行事や様子や未就園児園庭開放の日程などを発信した。ポスターや幼稚園要覧などをより分かりやすいものに作成し直し、幼稚園教育を発信した。

次年度への改善点

取組内容①【施策内容：ICTを活用した教育の推進】

- ・引き続き、保育の中にICT機器を取り入れられるよう、教師の学びを深め実践する。

取組内容②【施策内容：働き方改革の推進】

- ・業務時間の短縮に有効な働き方について検討する。

取組内容③【施策内容：絵本に親しみ、言語力や表現力を育む取組】

- ・子どもが絵本に触れられるような様々な機会を検討する。

取組内容④【施策内容：家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】

- ・全ての教職員が定期的にHPの更新を行い、園の取組を発信する。